

# 切附紋踊後

# 藤川山吾

二万三子矢敷の終り

一 形を代りのたりふりやると

夫のつらふひくふひかぢり

女飛仕遊を海潮の中へま

一 是後さやだにさうふねあぢりし

こんのまんだねさうふねあぢりし

## 後者 かん 名

## 次 名

むすめかたう

げい うれいの

日 こよの

日 まけの

るるる女たの

年よりなたる

りりハまを

ていり日女

子代まき

でけりまんを

むすめかたう

女さうらう

いいてこまを

つらな作らう

子代新ハ

げいこい

中飛が力

女さうらう

はとさ

安政七年十月十八日

ひやさうらう

日田ノ女

後家町

子代まき

よきあけ

大お茶

甲子

之六

子代まき

日 女ハ

そらう坊

下人

ハ

いさ

日女

むすめ

狂言作者

千日秋五歳示

筒井

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川